

取扱説明書

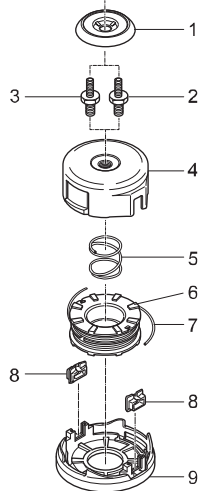
ゼノアオートカッタ Z-B Pro ボルト式 Z-K Pro 刈刃式

はじめに

このたびは、ゼノア“オートカッタ Z-B Pro、Z-K Pro”をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読み頂いて正しい操作と点検を充分にご理解され、機能を最大限に活用し、快適な作業をして頂くようお願い申し上げます。

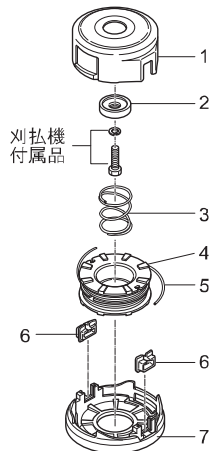
各部の名称

Z-B Pro



No.	品番	品名	個数
1	581056601	カバー	1
2	604199220	8mmシャフト(左ネジ)	1
3	604199240	7mmシャフト(左ネジ)	1
4	581064801	ケース	1
5	8488DZ3510	スプリング	1
6	581065001	リール	1
7	369990404A	コード	1
8	T318915191	アイレット	2
9	581064901	カバー	1

Z-K Pro



No.	品番	品名	個数
1	581066101	ケース	1
2	848JT269Y0	ホルダー	1
3	8488DZ4800	スプリング	1
4	581065001	リール	1
5	369990404A	コード	1
6	T318915191	アイレット	2
7	581064901	カバー	1

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出下さい。

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社：〒350-1165 埼玉県川越市南台 1-9

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

0570-550933



月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<https://www.zenoah.com/jp/>

✉ info.hv@husqvarna.jp

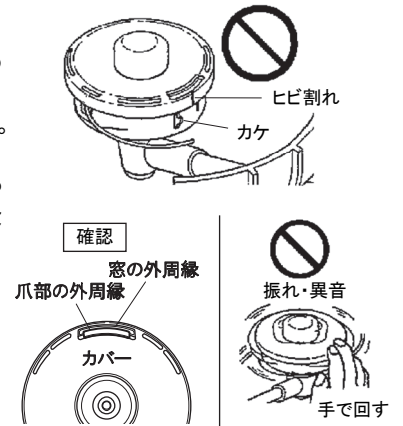
正しくお使いいただくために

<ご使用になる前に>

- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり製品の機能と取り扱い上の注意事項を充分にご理解ください。
- 本製品は、地表の雑草を刈るカッターです。それ以外の用途(木材の切断や植込みの剪定など)に使用しないでください。
- この取扱説明書の内容が理解できない人や子供には、絶対に使わせないでください。
- 他の人に貸す場合は、この取扱説明書の内容を説明するかこの取扱説明書を一緒にお渡しください。
- この取扱説明書は、いつでも必要に応じて見る事ができるように、大切に保管してください。
- ご使用の刈払機の取扱説明書に記載の注意事項も、必ず守ってください。

<毎作業前の注意事項>

- ① 作業中の各種飛散物から身を守るために…
 - 「そで締まりのよい長そで」・「すそ締まりのよい長ズボン」を着用してください。
 - ヘルメット・保護メガネ・保護手袋・保護長靴・すねあてなどの保護具を着用してください。
 - 刈払機には適切な位置に必ず、飛散防護カバーを装着してください。
- ② オートカッタ本体の破損・分解・飛散を防護するために…
 - ケースの爪部の外周縁が、カバーの窓の外周縁までほぼいっばいに広がっていることを確認してください。
 - カバーやリールの磨耗度合いを点検してください。磨耗が激しい場合は、必ず新しい部品と交換してください。
 - オートカッタ本体のカケやヒビ割れを点検してください。カケやヒビ割れのある部品は、必ず新しい部品と交換してください。
 - 刈払機とオートカッタの取り付けを点検し、ゆるんでいれば締め直してください。また、純正のシャフト以外は、取り付けに使用しないでください。
 - オートカッタ本体を手で回して振れや異音が無いか点検してください。振れや異音は回転中の異常な振動や、刈払機との取り付けのゆるみなどの原因となり危険です。



<作業中の注意事項>

- ① 各種飛散物から人や物品を守るために…
 - 周囲の物品や状況に充分注意して、半径15m以内に人がいないことを確認して使用してください。
- ② 本製品の早期磨耗・破損・分解・飛散を防ぐために…
 - オートカッタ本体を毎分10,000回転以上で回さないでください。
 - オートカッタ本体を石・コンクリート・木の株・ピンなどの硬質異物にぶつけないでください。
 - コードの繰り出しをする場合は、毎分4,500回転以下の低回転でタップノブ(コード引き出し要領の項の(A)部)を軽く地面へ打ち当ててください。
 - 異常な振動や異音などが出た場合、直ちにエンジンを止め点検してください。そのまま使用すると危険です。必ず修理してからお使いください。
- ③ 身を守るために…
 - 草やツルなどの巻き付きを取り除くとき、またナイロンコードの取り換えや巻き直し、その他点検の際は必ず刈払機のエンジンを止め、オートカッタ本体の回転が停止したのを確認してから行ってください。



適用機種

オートカッタ Z-B Pro および Z-K Pro は、下表のゼノア刈払機に取り付けることができます。

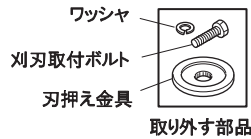
取付径	適用機種
7mm	BC2000/ 2100/ 2211/ 2225/ 222, TR2300/ 2310/ 2600/ 2610/ 2611, TRZ230/ 235/ 260/ 265, BC2310/ 2311/ 2320/ 2350, BC2410/ 2411, BC2510/ 2511/ 2520, BC2610/ 2611/ 2620/ 2650, BC2710/ 2711/ 2750, BK2210, BK2650, BKZ265/ 266/ 275, TKZ230/ 235/ 231/ 260/ 261/ 265, BK3410, BK3420, BKZ3050/ 3051, BKZ305/ 315, BCZ220/ 230/ 231/ 235/ 240/ 241/ 245/ 260/ 261/ 265/ 270/ 271/ 275, BCZ300/ 315/ 3000/ 3001
8mm	BC3410, BC3510, BC4410

※ Z-B Pro は取付用の7mmシャフト、8mmシャフトが同梱されており、Z-K Pro は刈払機の刈刃取付ボルトを使用します。

オートカッタ Z-B Pro 組付要領

オートカッタ Z-B Pro は上記表のゼノア刈払機に取り付けられるよう2種類のシャフトを附属しております。ご使用の機種をご確認の上、適正なシャフトを選んで組み付けてください。

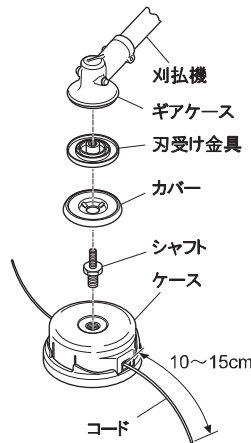
- 刈払機のギヤケース部から刈刃取付ボルト、ワッシャおよび刃押え金具を取り外します。



※ 巻付防止カバーがギヤケースに付いている場合は巻付防止カバーとその取付スクリューを外してください。

安全のため、取付時は保護手袋を着用してください。

- カバーを刃受け金具にあてがいながらシャフトをギヤケース側にねじ込んでください(左ねじです)。
- シャフトにオートカッタ Z-B Pro 本体を確実にねじ込んでください(左ねじです)。



<コードの長さ>

コードの長さは15cmが作業上適当です。標準長さよりも長い場合は回転が低くなり作業効率も悪くなります。

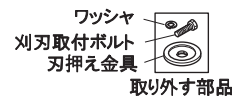
<注意>

取り外した刃押え金具、刈刃取付ボルトおよびワッシャ類は金属刃を使用するときのために保管してください。

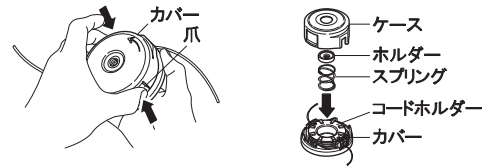
オートカッタ Z-K Pro 組付要領

オートカッタ Z-K Pro は刈刃取付ボルトが7mmおよび8mmのどのゼノア刈払機にも取り付けできます。

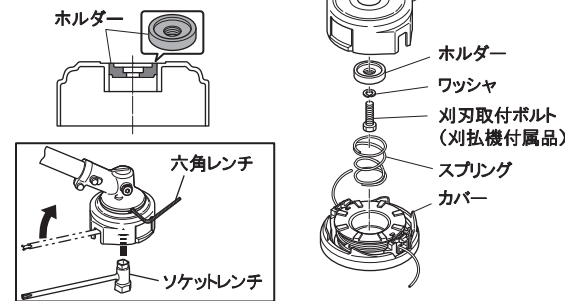
- 刈払機のギヤケース部から刈刃取付ボルト・ワッシャ・刃押え金具を取り外します。



- オートカッタ Z-K Pro のケース爪部を押しながらカバーを外し、ケース、ホルダーおよびスプリングを取り出してください。



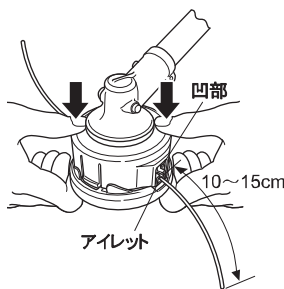
- オートカッタ Z-K Pro のケースとホルダーを刈払機ギヤケース部の刃受け金具にあてがいながら刈刃取付ボルトおよびワッシャをギヤケース側にねじ込んでください。



<注意>

- ホルダーには向きがあるので注意してください。
- 刈刃取付ボルトは金属刃を使用する時と同じ要領で、刈払機付属の六角レンチで回り止めをしながらソケットレンチで確実に締め付けてください。
【刈刃取付ボルト締めトルク】: 14.7~19.6N・m (150~200kgf・cm)

- カバー、リールおよびスプリング等の下側部分をケースに取り付けてください(パチンと音がするまで確実に取り付けてください)。



<コードの長さ>

コードの長さは15cmが作業上適当です。標準長さよりも長い場合は回転が低くなり作業効率も悪くなります。

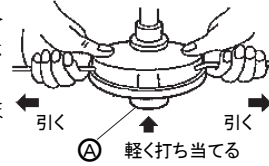
<注意>

取り外した刃押え金具は金属刃を使用するときに必要なです。大切に保管してください。

コード引き出し要領

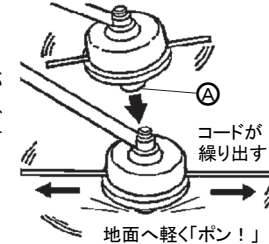
- 作業前の場合

コードを引きながら、A部を地面に軽く打ち当ててください。これでコードは4~6cm出ます。



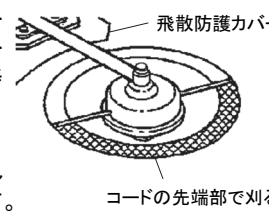
- 作業中の場合 (エンジン始動後)

オートカッタを回転させながらA部を地面(コンクリート面は不可)に軽く打ち当ててください。



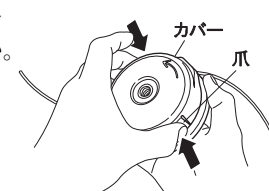
作業中の注意事項

- 草むらの中にオートカッタを押し込んで刈るようなことをしないでください。機械の寿命を短くします。
- コード先端(10~15mm)で刈りますと、きれいに刈れますし、作業も楽にできます。
- コードの長さが長くなりますと、エンジン回転が低くなり、作業性も劣りますので、標準長さ以上にしないように注意してください。
- 作業中にオートカッタを地面等に打ち当てますと、自動的にコードが長くなりますので、少し浮かして作業してください。

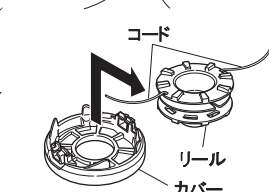


ナイロンコード取り替え要領

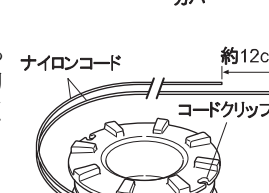
- ケースの爪部を押しながらカバーを引いて外してください。



- リールをカバーから取り出してください。



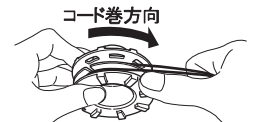
- リールから古いコードを引き抜いてください。



- コードの両端を約12cmずらして折り曲げ、リール中仕切りの「切欠き」に引っ掛けてください。

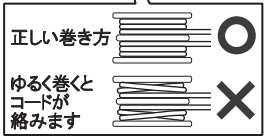


- リールの⇒矢印の方向に従ってコードを各々の溝にしっかり巻き込んでください。

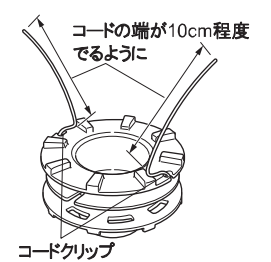


<注意>

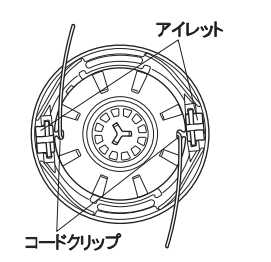
- 巻き方向を間違えますと、コードが絡り出されなくなります。
- 巻き方がゆるいと、コードが絡ります。



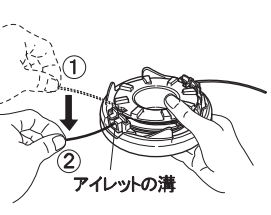
- 巻き終わったコードの端を10cm程度残して、リールのコードクリップに仮止めしてください。



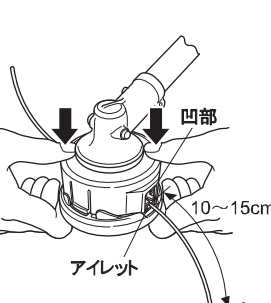
- コードクリップの位置をアiletにに合わせて、リールをカバーにセットしてください。



- コードをコードクリップから外し、アiletの溝に通し、コード先端部をカバーの外へ出してください。



- カバー、リールおよびスプリング等の下側部分をケースに取り付けてください(パチンと音がするまで確実に取り付けてください)。



<注意>

爪部がカバーの窓の外周縁にしっかり掛かっていることを確認してください。入り込みが不十分のまま使用すると、カバーや中の部品が飛び危険です。



- 最後にコード長さを適正な長さに調整してください。

<コードの長さ>

コードの長さは15cmが作業上適当です。標準長さよりも長い場合は回転が低くなり作業効率も悪くなります。